

つるい
4 2014

社協だより



平成26年3月に下幌呂小学校3～4年生（当時）の皆さんが車椅子購入の一部として「5,979円」寄付してくれました。

授業の中で障害者について学び、「自分たちに出来ること」を考え、地域で廃品回収をして換金してくれました。大切に使用させていただきます。

皆さんありがとうございました。

主な内容

- ◆ 平成26年度鶴居村社会福祉協議会 事業計画・予算 1
- ◆ 平成26年度鶴居村共同募金委員会事業計画 3
- ◆ 新評議員・各行事について..... 5
- ◆ 鶴居村地域活動支援センター..... 6
- ◆ 社協からのお知らせ・新職員の紹介..... 7



この「社協だより」は赤い羽根共同募金配分金の一部を受けて発行しています

平成26年度鶴居村社会福祉協議会 事業計画

1. 基本方針

行政との密接な連携は勿論のこと、地域住民のニーズを的確に掘り起こしながら組織体制の強化と事業の推進を図ることを最大の目標として取り組んで参りたいと考えます。

又、新たな取り組みとして「日常生活自立支援事業」の業務受託に向けた検討や平成23年度策定の「地域福祉実践計画」の確実な実行と合わせて「小地域福祉活動」を推進する中で、社会福祉協議会の組織基盤の強化に向けた住民への社会福祉協議会の理解の促進や地域活動への参画など住民主体の活動を支援し、次のように事業を推進します。

2. 基本目標

『ともに支え合う、安心、安全、福祉でまちづくり』

～人がつながる 地域が～つながる あったか～い村づくり～

3. 実施事業

<法人運営・組織強化事業>

- 理事会・評議員会の開催
- 内部監査の実施
- 役員等研修会の開催・参加
- 事務局体制の強化
- 社協会員の加入促進
- 共同募金運動の支援と有効的な活用

<地域福祉推進事業>

- 各種福祉団体の事務局を担い、適正運営を図るとともに、ネットワークの促進
- 緊急時に活用できる「命のボタン」(仮称)の独居高齢者と高齢者夫婦世帯に配布・設置

<子育て支援対策事業>

- 子育て支援対策事業の継続実施と環境整備
- 会員の確保と講習会の実施
- 村内子育て関係団体(ひよこ会等)への協力・支援
- 子育て支援対策事業支援会員及び保育ママの発掘
- 保育ママ事業の支援

<各種福祉資金貸付事業>

- 生活福祉資金貸付事業の適切な運営と相談支援
- 応急生活資金貸付事業の実施と相談支援

<福祉啓発事業の推進>

- 社協関係情報の提供
- 社協だよりの定期発行
- 社協概要版の作成

<在宅福祉推進事業>

- 在宅福祉除雪サービス事業の実施
- 年越しほのぼのサービス事業の実施
- 高齢者・障害児(者)等への福祉用具貸与事業の実施
- 買い物・通院等を支援する移動手段サービスの検討(新規)
- ふれあい昼食会の実施

<地域活動支援センター事業>

- 障がい者の日中活動の支援
- 障がい者の地域における自立支援

<ボランティア活動推進事業>

- ボランティアセンターの運営
- ボランティアの育成
- ボランティア連絡協議会との協働
- ボランティアの発掘のための研修会の開催

<福祉教育推進事業>

- 学童・生徒のボランティア活動普及事業協力校指定
- 小・中学校における福祉教育の推進

<地域福祉権利擁護事業>

- 道社協と協働した、日常生活自立支援事業の推進
- 生活支援員の発掘と養成
- 高齢者や児童虐待等の啓発活動の推進

<サロン設置推進事業>

- 地域における住民主体のサロン活動の推進と支援

<心配ごと相談所事業>

- 相談サロンの開催

平成26年度鶴居村社会福祉協議会 一般会計収支予算

収 入

大区分	中区分	小区分	予算額
会費収入			260,000円
寄附金収入			30,000円
経常経費補助金収入			14,959,000円
少子高齢化対策事業補助金			1,700,000円
受託金収入			83,000円
共同募金配分金収入			932,000円
	一般募金配分金収入		762,000円
	歳末たすけあい募金配分金収入		170,000円
雑収入			20,000円
受取利息配当金収入			2,000円
繰越金			714,000円
収入合計			18,700,000円

支 出

大区分	中区分	小区分	予算額
人件費支出			13,510,000円
事務費支出			1,980,000円
事業費支出			1,830,000円
共同募金配分金事業費			1,000,000円
	一般募金配分金事業費		810,000円
	歳末たすけあい配分金事業費		190,000円
助成金支出			126,000円
繰出金			2,000円
予備費			252,000円
支出合計			18,700,000円

平成26年度鶴居村社会福祉協議会 保育ママ事業特別会計収支予算

収 入

大区分	中区分	小区分	予算額
受託金収入			3,060,000円
受取金配当金収入			1,000円
繰越金			19,000円
収入合計			3,080,000円

支 出

大区分	中区分	小区分	予算額
事業費支出			190,000円
助成金支出			2,880,000円
予備費			10,000円
収入合計			3,080,000円

平成26年度鶴居村社会福祉協議会 地域活動支援事業特別会計収支予算

収 入

大区分	中区分	小区分	予算額
受託金収入			900,000円
雑収入			60,000円
受取金配当金収入			1,000円
繰越金			69,000円
収入合計			1,030,000円

支 出

大区分	中区分	小区分	予算額
人件費支出			664,000円
事業費支出			351,000円
予備費			15,000円
収入合計			1,030,000円



平成26年度 鶴居村共同募金委員会 事業計画

会議の 開催

平成 26 年

- 5月 第1回鶴居村共同募金委員会理事会・評議員会
- 5月 第1回鶴居村共同募金委員会内部監査
- 9月 鶴居村共同募金委員会役員・評議員合同会議

平成27年

- 1月 第2回鶴居村共同募金委員会理事会(審査委員会)
- 3月 第3回鶴居村共同募金委員会理事会
第2回鶴居村共同募金委員会評議員会

会議・研修 への参加

平成26年

- 6月 赤い羽根セミナー
釧路地方共同募金委員会
第1回理事会
町村共同募金委員会関係者
研究協議会
- 11月 釧路地区地域福祉セミナー

広報・ 募金活動

◎平成 26 年 9 月 ふるさと祭り

広報活動

- ・募金資材の斡旋
- ・赤い羽根サポーターグッズの活用
- ・無償資材の活用
- ・アトラクションの活用

◎ 10 月 赤い羽根共同募金運動開始

運動期間 平成26年10月1日(水)～12月25日(木)

募金方法

- ①街頭募金運動
- ②戸別募金(各連合会、自治会を通じ会員に募金協力を依頼)
 - ・資材配付(集約は職員・理事・評議員にておこなう)
 - ・各戸の募金活動は各地域の班長・農事組合長へ依頼
- ③設置募金箱 ④学校募金 ⑤その他

※募金運動の方法によって期間が異なります。

詳細は10月別途社協だよりにてお知らせ致します。

◎ 12 月 歳末たすけあい運動開始

運動期間 平成26年12月1日(月)～12月25日(木)

募金方法 村内各事業所及び商店に個別で協力依頼
職員及び理事にて活動



その他

災害義援金の募集 随時実施

平成26年度 共同募金目標額設定

目	標	額	690,000円(前年度 690,000円)
内 訳	戸 別 募 金		700円×760戸=532,000円(前年度770戸 539,000円)
	そ の 他 募 金		158,000円(前年度 151,000円)
使	途 計 画		690,000円(前年度 690,000円)
内 訳	助 成 事 業 費		470,000円
	釧路地方共同募金委員会分担金		5,000円
	全道広域使途計画分担金		113,000円
	鶴居村・釧路地方共募事務経費		102,000円

地域歳末たすけあい運動

目	標	額	130,000円(前年度 130,000円)
使	途 計 画		130,000円(前年度 130,000円)
内 訳	独居高齢者支援事業		
	地域ふれあいサロン		



鶴居村共同募金委員会からのお知らせ

東日本大震災義援金募集の終了とお礼

平成23年3月14日から実施して参りました東日本大震災義援金募集受付を平成26年3月31日をもって終了致しました。

村民の皆様には多大なるご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

被災地では現在も復興に向けた取り組みが進められております。

今後は、被災県に設置しております災害対策本部または災害義援金募集委員会等で受付を行う予定です。

共同募金会 義援金総額 414億3,972万6,331円(平成26年3月7日現在)

・北海道共同募金会 (6億8,418万7,487円)

・鶴居村共同募金委員会 (1,320,696円)

(平成22年3月～26年3月末まで)

日本赤十字社 義援金総額 3,304億5,109万8,447円(平成26年3月10日現在)

※日本赤十字社においては継続して義援金募集受付を行っています。

○今後のお問合せ先○

岩手県災害義援金募集委員会事務局(岩手県保健福祉部保健福祉課企画室) TEL019-629-5408

宮城県災害対策本部(宮城県保健福祉部社会福祉課団体指導班) TEL022-211-2516

福島県災害対策本部(福島県保健福祉部社会福祉課) TEL024-521-7322



新評議員の紹介

この度、茂雪裡地区代表の評議員として佐藤弘前評議員に代わり菊池和弘さんが評議員となりました。

地域の福祉課題の解消に向けて一層のご活躍を期待致します。

3/26 老人クラブ連合会 第2回会員研修交流会



各地域の老人クラブ会員総勢52名の方々が集まり、研修会（体力測定）を実施しました。また研修会終了後グリーンパークで昼食を食べながら交流会も行われ、普段会えない人たちとの親睦交流を深めることが出来ました。特に交流会では、各地区の代表者がカラオケを披露し大いに盛り上がりました。

沢山の老人クラブの会員に参加して頂き、有難う御座いました。第3回の会員研修交流会も来年3月に予定していますので1年元気に生活しましょう！

「被災地に贈る手編みの会」活動始める！

鶴居村ボランティア連絡協議会では、福島県の仮設住宅にお住まいの高齢者に手編みのソックスを作り贈る活動を始めました。

4月3日（木）に第1回の集まりがあり、参加した方たちで会の名称や、活動内容等を話し合いました。冬までに編みあがったソックスを福島県社協を通じ、仮設住宅の高齢者に贈ります。編み物が出来ない方もお互いに教え合いながら活動をしています。また、ソックスの編み手や毛糸の寄付についても募集しております。

皆様のご協力をお待ちしております。どうぞ宜しくお願いします。



3/2 「上幌呂ふれあいサロン」



平成25年3月2日（日）に上幌呂コミュニティセンターで上幌呂連合会と共催で「上幌呂ふれあいサロン」を開催しゲートボールによる世代間交流や交流昼食会を行いました。昼食会では松井自治会長より「年々高齢化が進み、地域の人口も減少傾向にあり10年先の地域のあるべき姿が大変心配である。この交流昼食会を通して会員の皆さんと今後の方向性について語り合おう」と挨拶があり昼食会は賑やかな内に終了しました。

鶴居村地域活動支援センター 『つむぐ』 tu mu gu



地域活動支援センターとは、障がい等により日常生活や就労が困難な方を対象とし、様々な活動場を提供することで、地域でいきいきと自立した生活が営めるようにお手伝いをします。活動は毎日午前中に行い、様々な希望に沿った活動が可能です。

利用料は無料ですが登録が必要となります。

食事や創作的活動における食材料費等で、利用者負担が発生する場合があります。

一週間の流れ

月	火	水	木	金
運動教室 9:30~11:00	パソコン教室 10:00~11:30	自由創作活動 10:00~11:30	自由創作活動 10:00~11:30	音楽教室 10:00~11:30



ストレッチや筋トレ
を行っています。
季節によって散歩
なども考えています。



パソコンの使い方
やタイピング練習
など、様々なニーズに
応えた教室を行って
います。

塗り絵や手芸など、
気分に合わせて自由
に創作活動を楽しみ
ませんか♪



音楽演奏、歌や音楽
鑑賞など音楽を取り
入れた活動をして
いきます。

上記の他レクリエーション等も取り入れる予定です。

季節に合わせた交流会等でお菓子作りやゲーム、小遠足等、楽しい時間を提供していきます。

※お問い合わせは ☎64-3033 社会福祉協議会まで

社協からのお知らせ

社協5月～6月の予定	
5月	
8日(木)	鶴居村赤十字奉仕団総会
9日(金)	ボランティア連絡協議会総会
15日(木)	内部監査(社協・共募)
19日(月)	相談サロン
20日(火)	釧路地区老人クラブ連合会第1回理事会(釧路市)
22日(木)	全道市町村老人クラブ連合会会長・事務局長会議(定山溪)
27日(火)	共同募金委員会理事会/社会福祉協議会理事会
28日(水)	共同募金委員会評議員会/社会福祉協議会評議員会
6月	
4日(水)	北海道戦没者遺族大会(旭川市)
6日(金)	地域に理解され支持される社協づくり職員研修会(釧路市)
10日(火)～11日(水)	全道市町村社協会長・事務局長研究協議会(札幌市)
11日(水)	赤い羽根セミナー(札幌市)
13日(金)	平成26年度釧路地方共同募金委員会理事会(釧路市)
16日(月)	相談サロン
20日(金)	平成26年度町村共募関係者研究協議会(標津町)

新職員の紹介



甲谷知之主事

(こうや ともゆき)です。
釧路出身の22歳です。
至らない点が多いながらも、鶴居の皆様のお役にたてるように頑張りますので宜しくお願いします。



堀尾勇子支援員

地域活動支援センターを担当します。様々な活動を通して皆さんとの交流や日々の生活の変化を大切にしたいと思います。宜しくお願いします。



直里純子支援員

地域活動支援センター支援員として「楽しいひと時」を過ごせるよう活動のお手伝いをさせて頂くこととなりました。宜しくお願いします。